



あ さ の は

【基本理念】私たちは命と健康に向き合うことを医療の原点とします。

長岡赤十字病院

長岡市千秋 2 丁目 297-1

電話 0258-28-3600

ホームページアドレス

<http://www.nagaoka.jrc.or.jp/>

新型コロナウイルスの感染防止策と当院の対応

感染症科部長 **西堀 武明**

新型コロナウイルス感染症は今年に入って全国的に流行しています。今後は冬に向けて患者数の増加が懸念されています。

新型コロナウイルスは感染経路として、飛沫感染と接触感染があげられています。そのため、マスク着用と手洗いは感染予防に対して重要です。病院を受診される際には病気をうつさない、もらわないためにマスクをつけての来院を引き続き行っていただきたいと思えます。新型コロナウイルスは症状が出る2日前からウイルスを排出して感染させる観点からもマスクをしっかりとすることは重要です。普段の生活でも重要なことですが病院の受診から家に戻った際には手洗いをしっかりと行うようにしましょう。

また、新型コロナウイルス感染症は基礎疾患がある方、高齢の方で重症化しやすいと言われていています。心疾患、呼吸器疾患、糖尿病、腎疾患などの持病のある方や化学療法や免疫抑制剤を内服している方も重症化のリスクがあると言われていています。その観点からも普段から基礎疾患、通常かかっている病気をしっかりと管理していくことも重要です。また重症化リスクのある方はあまり人混みに出ないということも大事なポイントになると思われます。

季節性インフルエンザと同時に流行することも予測されています。そのためインフルエンザのワクチンをしっかりと接種しておくことも重要です。今年、当院では成人のインフルエンザワクチンの集団接種は実施しませんので、地元の診療所でワクチン接種を行っていただきたいと思えます。インフルエンザの流行時期を考えて12月上旬までにはインフルエンザワクチンの接種を終えるようにしましょう。

当院は感染症指定医療機関に指定されており、入院患者の受け入れを3月から行っています。今後も入

院の受け入れは継続していくこととなります。一般呼吸器感染の流行に向けて、入院診療と外来診療の両方を維持していくための体制を現在は整えているところです。

外来診療に関しては病院の正面玄関にサーモグラフィを設置して発熱者を早期に見つける方式をとる予定です。一般の患者さんと交差しないように独立した場所で鼻咽頭ぬぐい液を採取する準備をしています(裏面)。どのように検査の必要がある方をふるい分けするか流れを構築中です。

当院は新型コロナウイルス感染に関わる一方で、地域中核病院として救急医療や周産期医療など、一般の診療も従来通りに維持していく必要があります。そのために大きな病院だけに負担がかからない形で地域の含めての医療体制についても検討しているところです。

新潟県は他の県と比較しても患者数も少ない状況です。県民の方々がひとりひとりルールを守っていただいている点も罹患率の少なさに関係していると考えられます。しばらく流行の波は続いていくと予測されます。個人レベルでも新しい生活様式を守っていく、3密を避けるという対策を継続していくことで流行の波を抑えていくことも大事な点と思われます。

(10/8現在の状況を記載しています)

正しいマスクの着用



特設外来（発熱）診察室を整備しました

国による「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」を活用し、屋外に特設外来（発熱）のための診察室を整備しました。

換気・動線に配慮した運用を行い、患者さんのPCR等検査の検体採取がここでされる予定です。



特設外来（発熱）診察室



検体を採取するブース



音楽会『蒼いシンフォニー』が開催されました

8月27日（木）17時より、病院前広場にて音楽会『蒼いシンフォニー』が開催されました。

この会は、医療従事者への感謝の気持ちを贈る音楽会として長岡蒼柴ライオンズクラブ様によって企画されたもので、中越高等学校吹奏楽部のみなさんによる力強い演奏につづき、長岡在住の音楽家 片野大輔さんと権藤真弓さんによるチェロとピアノの美しい音色を披露いただきました。

3密を避けるため屋外での開催となり厳しい暑さの中でしたが、演奏いただいたみなさま、開催いただいた長岡蒼柴ライオンズクラブのみなさま、本当にありがとうございました。



患者会からのお知らせ

がん患者サロン 「ほほえみサロン千秋」
毎月第一金曜日 14：00～15：30



感染対策に注意しながら開催しています。ただし、コロナウイルス感染の状況によっては中止となりますので、がん相談支援センターにお問合せください。